

教育研究データ			
1. 氏名	小川 雅史		
2. 生年月	1959年9月		
3. 取得学位	教育学士		
4. 教育業績			
教育上の能力に関する事項	年月	概要	
(1) 教育内容・方法の工夫	2013年9月 ～ 2020年2月	①クリッカーアプリ「ソクラティブ」を用いて、講義中の理解度をリアルタイムに把握し、実態に応じて展開を変えていく等の工夫をしている。また、学修後の理解度・小テスト・質問をイグジットチケットで集め、次時以降の授業内容に反映させている。	
	2013年9月 ～ 2020年2月 ～	②デジタルとアナログのクリッカーを用いた模擬授業を体験させたり、学校グループウェアやプログラミング教育を疑似体験させたりして、理論知と実践知の融合が図れるようにしている。	
(2) 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	2002年12月	①広島県教育委員会主催の「新教科『情報』現職教員等講習会」において、教育内容及び教育方法について講演を行う。	
	2020年2月	②東広島市立乃美尾小学校において、「プログラミング教育・タブレット活用」の講演を行う。	
	2020年8月 ～9月	③東広島市立乃美尾小学校、呉市立広南小学校、呉市立明立小学校において、「Google教育システムの活用法」の講演を行う。	
5. 研究業績			
(1) 著書	単著 共著 の別	発行の 年月	発行所
①学校がインターネットにつながる日 インターネット利用教育の理論と実践	共著	1998年3月	北大路出版
②教育の方法・技術と教育機器及び教材の活用法	単著	2018年2月	広島文教女子大学
(2) 学術論文	単著 共著	発行の 年月	掲載紙および巻/号, 頁

	の別		
①学校と地域・社会を結ぶ「社会に開かれた教育課程」～地域の環境を素材にし、情報交換を通して深める教科等横断的な授業「廣大川学習」と「ものづくり造船の歴史」の授業づくり～	単著	2019年2月	広島文教女子大学, 教職センター年報・第7号, pp. 33-43
②小学校におけるプログラミング教育の意義とあり方～プログラミング体験の分析を通して～	単著	2021年2月	広島文教大学, 教職センター年報・第9号, pp. 19-29
③			
④			
⑤			
(3) 研究・作品発表		発表の年月	発表学会等
①インターネットサーバを使った教育実践「協働学習の教育効果」授業公開並びに実践発表		2005年10月	平成17年度呉市立両城小学校・港町小学校・両城中学校共同研究大会
②教育ICT活用実践セミナー講演		2011年3月	社団法人日本教育工学振興会(JAPET)
(4) 所属学会			
①日本アクティブ・ラーニング学会			
②			
③			
④			
⑤			